

## 平成 26 年度 UJNR 活動予定について

### (1) 第45回日米合同部会

米側事務局の商務省国立標準技術研究所(NIST)との調整の結果、平成26年10月22日に、「UJNR耐風耐震構造専門部会第45回合同部会」を米国で開催する予定になりました。今回は、日米の部会長を中心としたコア会議の開催となります。

前回第44回合同部会で採択された本部会の第3次戦略的計画のその後のフォロー、関連分野に関する日米双方での最近の動き、今後の協力分野・活動分野の可能性、合同部会の合理化などについての意見交換を行う予定です。会議結果に関しましては、本ニュースレターを通じ、あるいは、必要に応じ国内部会開催による報告・議論を予定しています。

### (2) ワークショップの開催

平成26年10月21～23日に、作業部会Gが主催する「第30回日米橋梁ワークショップ」が米国で開催されます。ワークショップを通じた長期にわたる活動（技術情報の交換、人的交流等）が継続されており、今回が30周年となっています。

### (3) その他の活動

UJNRに関連する会議として、平成26年9月3～4日に、「International Symposium on Developing Standards for Disaster Resilience of Buildings, Infrastructures and Communities」が米国NISTで開催されます。本会議は、「大統領の気候変動に関する行動計画（2013年6月）」に基づき、NISTとノースイースタン大学が主催する会議であり、コミュニティ・ベースの総括的なレジリエンス・フレームワークの開発、建築物とインフラ施設のためのガイドラインの提供を目的とされています。

NISTから日本側部会に参加の要請があり、メンバー機関で相談をさせていただき、今回は事務局長が参加を予定しています。会議情報については、改めて提供いたします。

[http://www.nist.gov/el/building\\_materials/resilience/](http://www.nist.gov/el/building_materials/resilience/)

[http://www.northeastern.edu/resilience/wp-content/uploads/2014/02/Flyer.NIST\\_9-34-14.pdf](http://www.northeastern.edu/resilience/wp-content/uploads/2014/02/Flyer.NIST_9-34-14.pdf)

(事務局)

# 米国における災害対応・危機管理に関するフレームワーク集

## －UJNR チャンネルを通じた日本語翻訳版の公開－

本ニュースレター前号でお知らせしましたが、米国における災害対応・危機管理のためのフレームワーク（枠組み）集の翻訳版資料を以下で公開していますので紹介いたします。

<http://www.db.pwri.go.jp/pdf/D8363.pdf>

図-1、図-2 に、国土安全保障省／連邦緊急事態管理庁（DHS/FEMA）から公表されている一連のフレームワーク集を示します。米国の連邦政府が行う災害対応・復興は、1988年に制定された「スタフォード災害救助・緊急事態支援法」に基づき実施されます。フレームワークは、ハリケーン・カトリナを含む過去の災害経験を踏まえて改訂されてきたもので、代表的なものとしては、「国家対応フレームワーク（NRF、2008年1月、2013年5月改訂）」などがあります。2012年10月にニューヨークを襲ったハリケーン・サンディに際してもNRFに基づいて対応がなされています。フレームワークの改訂、作成が継続されており、2014年7月には国家防護フレームワークが発刊されたところです。

UJNR チャンネルを通じた米側の関連参考情報として、本フレームワークの日本語版について、このたび土木研究所の資料として公開することになりました。関心のあるメンバーにおかれては、英文原本とともにご参考ください。

謝辞：今回の情報に際し、UJNR 米側部会委員である FEMA の Michael Mahoney 博士、運輸省連邦道路庁本省（FHWA）主席橋梁エンジニアの Phil Yen 博士および同安全担当部長の Dan Ferezan 氏に大変お世話になりました。

（事務局）

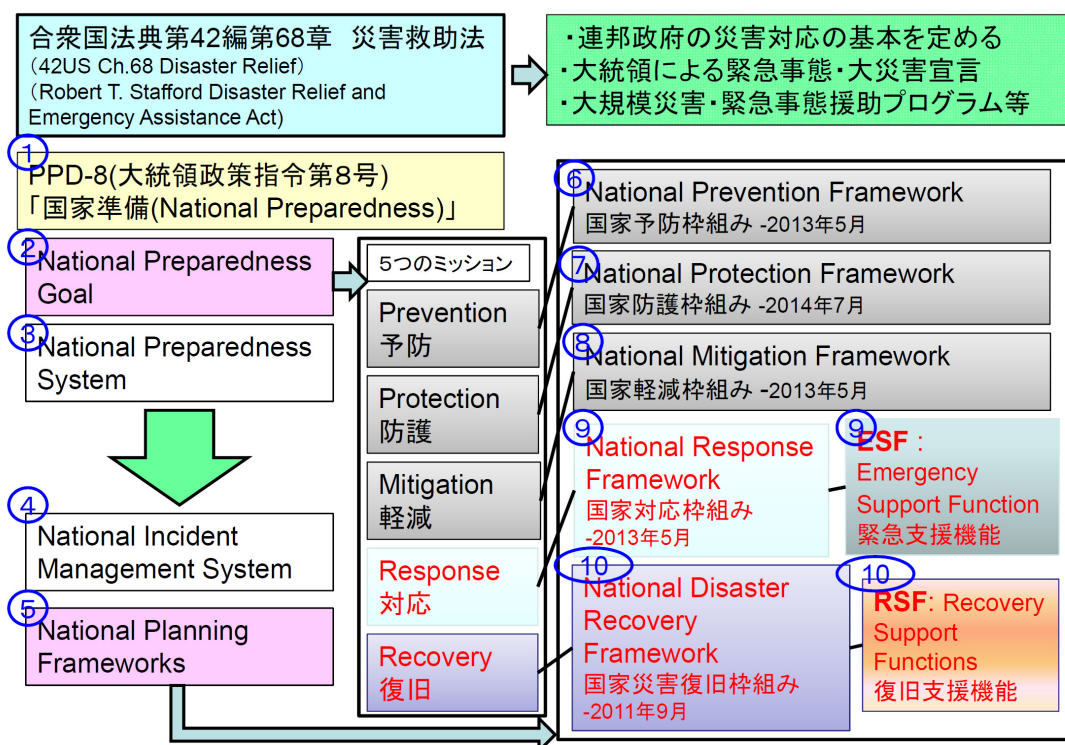


図-1 米国の災害対応に関する一連のフレームワーク（番号は図-2 との関係）

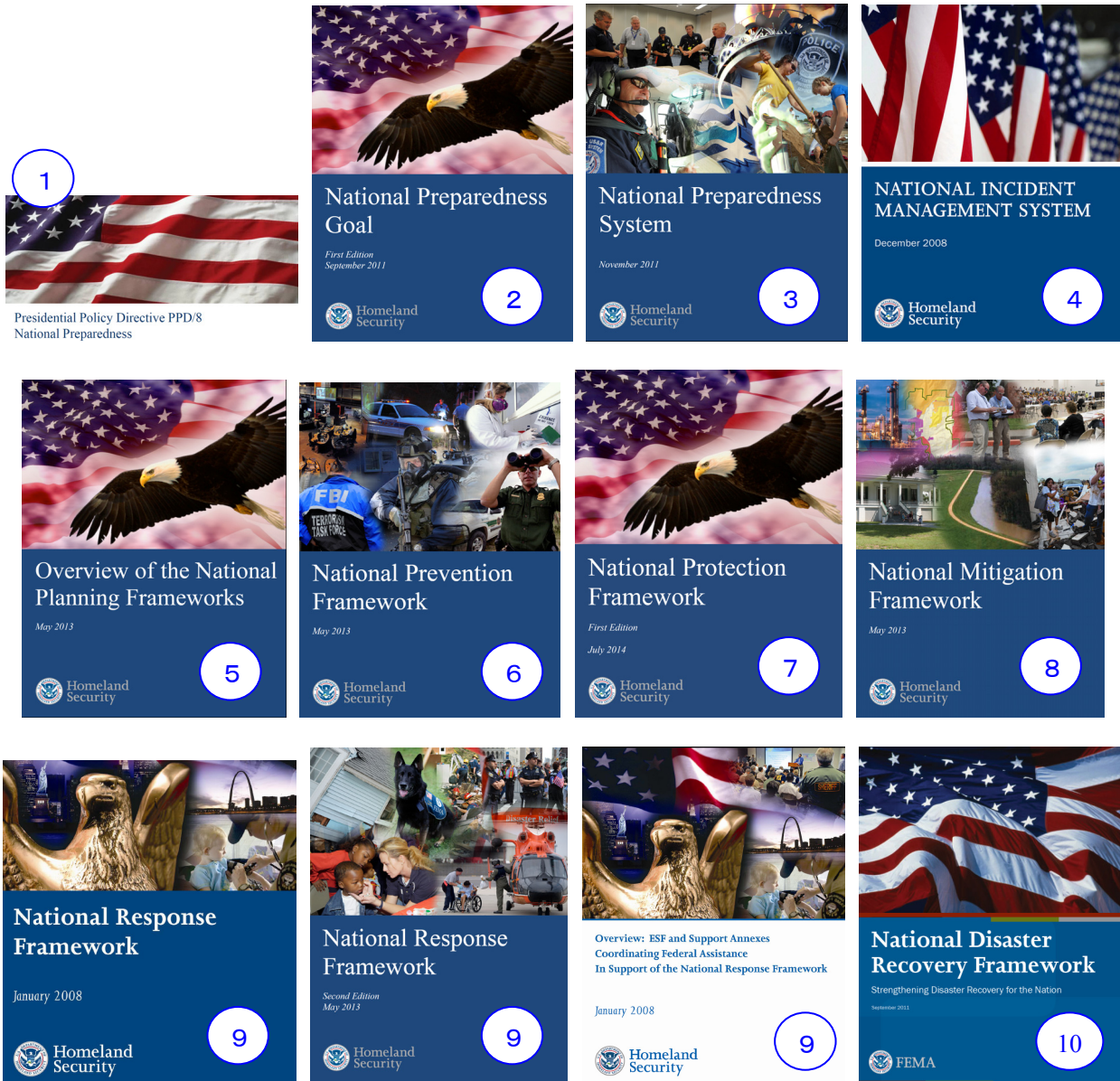


図-2 米国の災害対応に関する一連のフレームワーク（番号は図-1 との関係）

ISSN 0386-5878 土木研究所資料 第4289号	目次
土木研究所資料	概要 ..... 1~14
米国の災害対応・危機管理に関する調査 -国家準備のためのフレームワーク集-	米国における災害対応・危機管理に関する 国家準備のためのフレームワーク集 (翻訳)
平成26年8月	1. 大統領政策令 8 : 国家準備 ..... 1-1~1-5 「Presidential Policy Directive, PPD-8 National Preparedness」 (2011年3月30日)
独立行政法人土木研究所 構造物メンテナンス研究センター	2. 国家準備ゴール ..... 2-1~2-32 「National Preparedness Goal」 (2011年9月)
	3. 国家準備システム ..... 3-1~3-10 「National Preparedness System」 (2011年9月)
	4. 国家計画フレームワーク ..... 4-1~4-9 「National Planning Frameworks」 (2013年5月)
	5. 国家事象管理システム ..... 5-1~5-106 「National Incident Management System」 (2008年12月)
	6. 国家予防フレームワーク ..... 6-1~6-34 「National Prevention Framework」 (2013年5月)
	7. 国家防護フレームワーク ..... 7-1~7-40 「National Protection Framework」 (2014年7月)
	8. 国家軽減フレームワーク ..... 8-1~8-51 「National Mitigation Framework」 (2013年5月)
	9. 国家対応フレームワーク ..... 9-1~9-95 「National Response Framework」 (2008年1月)
	10. 国家対応フレームワーク第2版 ..... 10-1~10-60 「National Response Framework, 2nd Edition」 (2013年5月)
	11. 国家対応フレームワーク：緊急事態援助機能 (ESF) & 支援付属書 「ESF: Emergency Support Function」 (2008年1月) ..... 11-1~11-68
	12. 国家災害復旧フレームワーク ..... 12-1~12-108 「National Disaster Recovery Framework」 (2011年9月) (復旧支援機能「RSF: Recovery Support Functions」)
	参考資料：戦略的国家リスク評価(SNRA) ..... 参-1~参-12 「Strategic National Risk Assessment」 (2011年12月)



## UJNR を通じた技術情報の交換

橋梁分野に関し、日米間で情報交換を行われた例を紹介します。

図-3 は、土木研究所から公表された英文資料「Menshin (Seismic Isolation) Bridges in Japan (August 2014)」です。

<http://www.db.pwri.go.jp/pdf/D8382.pdf>

本資料は、一般財団法人土木研究センターに設置された「道路橋の免震構造研究委員会（委員長：川島一彦東京工業大学名誉教授（元 UJNR 日本側部会委員）」の成果報告書「わが国の免震橋事例集（平成 23 年 12 月）」が英文翻訳されたものです。本資料では、これまで建設された免震橋の中から、免震橋として特徴のある橋、震災後に免震構造を用いて復旧された橋、免震構造を用いて耐震補強された既設橋、規模の大きい免震デバイスが用いられた橋、地震観測データが得られた橋、免震橋の施工など、合計 43 橋の実際の免震橋の事例が技術データ集としてまとめられています。

一方、米側部会（作業部会G）メンバーである運輸省連邦道路庁（FHWA）からは、AASHTO 基準に取り込まれる予定のNCHRP 20-7 / Task 262(M2)の報告書「Seismic Isolation Design Examples of Highway Bridges」の提供を受けています。



図-3 わが国の免震橋に関する技術資料（和英）

（事務局）

## 平成 26 年度 UJNR 活動予定カレンダー

1. 平成26年9月3,4日：NIST主催「International Symposium on Developing Standards for Disaster Resilience of Buildings, Infrastructures and Communities」、米国
2. 平成26年10月21～23日：作業部会G「第30回日米橋梁ワークショップ」（30周年）、米国
3. 平成26年10月22日：UJNR耐風耐震構造専門部会第45回合同部会（部会長会議）、米国



### UJNR Panel Update 「UJNR 便り」 発行

UJNR 事務局：(独)土木研究所構造物メンテナンス研究センター

連絡先：〒305-8516 つくば市南原 1-6 TEL:029-879-6773

運上茂樹(ウジヨウ)、入山素子(イヤマ)、岡田玲子(カタ)

\* ) 関連するワークショップ等の開催予定・開催報告など、UJNR 耐風耐震構造専門部会内で共有したい有用情報がありましたら事務局までご連絡ください。